

研究懇談会一覧

回	日付	発表者	発表題目
1	1986年1月14日	梅棹 忠夫	”映画(民博紹介 研究部編)試写会 館長の問題提起”
2-2	1986年2月12日	久保 正敏	民族学研究における画像情報の利用について
2-1	1986年2月12日	藤井 龍彦	ボリビア高地の定期市
3-3	1986年3月12日	野村 雅一	最近のカトリシズムについて
3-2	1986年3月12日	吉本 忍	インドネシアの手織機
3-1	1986年3月12日	八杉 佳穂	マヤ文字の分析
4-2	1986年4月9日	永ノ尾 信悟	古代インドで祭祀解釈はいかになされたかー基礎となる観念世界と論の進め方ー
4-1	1986年4月9日	片倉 素子	異文化環境におけるムスリムーカナダの場合ー
5-2	1986年5月7日	石毛 直道	魚醬とナレズシの文化
5-1	1986年5月7日	ユハ・ヤンフネン	今日のシベリアにおけるフィールドワーカーー革命以降の外国人によるシベリア・フィールドワーク略史ー
6-2	1986年6月18日	崎山 理	オセアニアの民族移動と言語混合
6-1	1986年6月18日	小川 了	クーメンとガーブゴルーフルベ社会の平準化機構ー
7	1986年7月16日	コリン・ピアソン	Conservation of Shipwrecks
8-2	1986年9月10日	ヤン・ファン・ブレーメン	戦後日本の宗教人類学を課題として
8-1	1986年9月10日	田辺 繁治	憑依とセクシャリティー北タイのスピリット・カルトー
9	1986年10月22日	Jack Goody	Family and Marriage in Europe : a comparative perspective
10	1986年11月19日	Joseph LUYTEN	Brazilian Popular Literature
11-2	1987年1月14日	黄 慧性	韓国の食生活
11-1	1987年1月14日	佐々木 史郎	トナカイの多頭飼育について
12-2	1987年2月25日	小山 修三	変質を迫られる民族学者ーオーストラリアのフィールドからー
12-1	1987年2月25日	出口 晶子	日本海・東シナ海をめぐる割船の構造発達の種類と分布
13	1987年3月25日	小谷 凱宣	内陸アラスカの考古学的調査から
14	1987年4月22日	森田 恒之	日本のかかわ
15-2	1987年6月17日	小山修三(司会)	特別討論会ー民博とコンピュータI『ワード・プロセッサをめぐると諸問題』
15-1	1987年6月17日	瀬川 昌久	香港神界の村落と祭祀組織
16-2	1987年7月1日	栗田 靖之	民博におけるソーラスの概要説明
16-1	1987年7月1日	黒田悦子(コメンテーター 端信行)	新ビデオテーク番組製作をめぐって
17	1987年10月7日	杉島 敬志	リオ族の祭祀家屋にみられる乳房の彫刻に関する分析
18	1987年10月19日	Claude Tardits	王子の処遇をいかにするか
19	1987年12月2日	Timothy Tsu	中国人の村廟の社会的機能ー神戸と長崎を例としてー
20	1988年2月10日	金 道権	中国・日本・朝鮮の「羽衣」型の昔話の比較から見た中国朝鮮族の「牧童と仙女」
21	1988年2月24日	洪 政国・井岡 幹博・佐藤 真知子・橋原 秀晴・黒川 雅人	標本資料の画像検索システムー民博-IBM共同研究の成果報告ー
22	1988年6月15日	塚田 誠之	1949年以前における中国広西のチュアン(荘)族とヤオ(瑶)族
23	1988年7月13日	朝倉 敏夫	韓国祖霊祭祀の変化ー都市アパート団地居住者を中心にー

研究懇談会一覧

回	日付	発表者	発表題目
24			
25	1989年7月12日	John Paul KNIGHT	"placement": 空間の意味論的構築—本宮・熊野の過疎地域の事例から—
26	1989年12月6日	ネルソン・グレーバン	Anthropology of Tourism
27	1990年1月24日	ライヘル・ドルマトフ	シャーマンと幻覚—コロンビア領北西アマゾン—
28	1990年2月28日	菊入 三樹夫	民族性形成運動の意味と解釈—第2帝政期ドイツを例に—
29	1990年3月2日	ジャン・マロリー	ある民族の記憶・歴史・自己検閲—グリーンランド北西部エスキモー—
30-2	1990年5月9日	佐々木 史郎・利光 有紀	アムール川流域民族調査報告
30-1	1990年5月9日	佐藤 浩司	東南アジアとオセアニアの住居系統論
31			
32	1990年11月21日	CHATTHIP Nartsupha	T'ai Cultural Revival in Asssam
33	1991年2月27日	池田 光穂	メスティーソの病気と社会—ホンジュラス西部の調査から—
34			
35	1991年4月24日	田村 克己	『寡婦村』を訪ねて—中国福建の「不落家」—
36	1991年5月22日	森 明子	スロヴェニア人とは誰か?—二重言語地域における言語の選択—
37	1991年6月19日	Russell Bernard	The Qualitative / Quantitative History and Science in Cultural Anthropology
38	1991年7月17日	清水 昭俊	ミクロネシア社会の変化を考える
39	1991年9月25日	南 真木人	移住をめぐる社会生態
40	1991年10月30日	栗田 靖之	民博シソーラスの構想
41	1992年1月29日	尹 紹亭	雲南的刀耕火種
42	1992年4月22日	佐藤 寛	イエメンの社会構造
43	1992年7月1日	戴 慶厦	
44	1992年9月30日	J G. van Bremen	ヨーロッパの日本学—文化人類学を中心として
45	1992年10月7日	栗本 英世	サバンナの狩猟的世界
46	1992年10月28日	立川 武蔵	マンダラとは何か
47	1992年11月11日	Galina V. Zubko	Current issues in Fulbe mythology and esoteric teachings
48	1992年11月18日	熊倉 功夫	
49	1992年12月9日	サンドラ A. ニッセン	伝統からの脱皮—バタック衣服史の変革の一世紀
50	1993年1月13日	Arsenio Nicolas	Music and Temple System in Southeast Asia : Some Preliminary Observations.
51	1993年4月7日	黄 才貴	中国トン族の物質文化
52	1993年4月21日	李 承鎮	〈韓国民族文化起源〉論について—その方法論的模索
53	1993年5月19日	Simon Simonse	The Matrilineal Revolution of the Semendo of South Sumatra.
54	1993年6月2日	Chatherine VerEecke	Patron-Client Relationships in Northern Nigeria: Continuity and Change.
55	1993年6月16日	Paul Hockings	Cultural Ecology of the Nilgiri Hills in South India.
56	1993年7月14日	栗田 禎子	スーダンのマフディー運動について
57	1993年9月22日	上杉 富之	ボルネオ焼畑農耕民の贈与交換

研究懇談会一覧

回	日付	発表者	発表題目
58	1993年10月6日	新免 光比呂	キリスト教の死生観とルーマニアの葬送習俗との関係について
59	1993年10月20日	安村 直己	近代世界とインディオ共同体
60	1993年11月17日	金 尚寶	韓国の祭祀食を通してみた巫俗と仏教
61	1993年12月8日	Taban lo Liyong	The Story of Taban lo Liyong
62	1994年1月12日	金 基赫	近代初期の日韓関係—韓国の開港における日本の役割
63	1994年2月9日	Bounheng Bousisengpraseuth	Buddhism and Its Arts in Laos
64	1994年2月16日	園田 直子	顕微鏡でみる紙の素材と製紙法
65	1994年3月2日	徐 平	ダ村社会—チベット農村の構造と変容
66	1994年3月16日	Tong Chee Kiong	Religious Trends in Singapore Society
67	1994年5月11日	横山 廣子	漢化した民族の研究—中国雲南省の白族
68	1994年5月25日	福岡 正太	ポップ・スンダー—伝統音楽からポピュラー音楽へ
69	1994年6月8日	Chan Kwok Bun	Chinese Migration, Family Dispersal and Cultural Change
70	1994年6月22日	林 勲男	と uda la:su; ベダムニ族の親族関係
71	1994年7月6日	額爾岱(エルドニ)	西部モンゴルの著名な英雄叙事詩”ジャンガル”について
72			
73	1994年9月28日	田井 竜一	昔、女性が泣き歌い、今、男性が泣き歌う—ソロモン諸島国チョイスル島における音楽芸能の動態
74			
75	1994年10月26日	F.X. ウィダルヤント	Tari Srimpi Kraton Yogyakarta : Tinjauan Konsep Estetikanya
76	1994年12月7日	ヤン・フネン	契丹人は何語を話していたか
77	1995年2月15日	ルハグバスレン	アルタイ・ウリヤンハイ族の遊牧について
78	1995年3月1日	井口 淳子	農村作家と語りもの芸人—中国・交渉物語再生の—プロセス—
79	1995年4月26日	大塚 和義	民博のアイヌ展示—サンドラ・ニッセン氏の批判に答えて
80	1995年6月7日	白杵 陽	イスラエルに居住する中東イスラーム世界出身のユダヤ教徒の研究をめぐって
81	1995年7月5日	ピクター・アザリア	Pastoralism and the State in Africa: Marginality or Incorporation
82-2	1995年7月12日	森田 恒之	博物館学国際協カワーキングからの報告(これからの民博の展示をめぐって②)
82-1	1995年7月12日	端 信行	長期計画計画策定特別委員会・博物館活動部会からの報告(これからの民博の展示をめぐって①)
83	1995年7月19日	シャムスル・アムリ・バハル ディン	From Melayu to Bumiputera: The Bureaucratic Management of Identity in Malaysia
84	1995年9月27日	杉本 良男	南アジアにおける心霊主義と民族主義—狂言廻しとしての『神智協会』—
85	1995年10月25日	ルーク・テイラー	The Symbolism of the X-ray Paintings of Australian Aboriginal Hunters
86	1995年11月8日	山田 睦男	ラテンアメリカの都市
87	1995年11月22日	三島 禎子	セネガルにおける家族構造と社会・経済の変容
88	1995年12月6日	ナタリー・ガシェ	”Matinée en cuisine (Morning in a Kitchen)” and the Method of Making Visual Records of Professional Cooks
89	1996年1月17日	ピーター・マシウス	Plants Dispersal and Human Movement: Evidence for a Complex History in Oceania
90	1996年2月14日	李 昆声	雲南古代滇族とその芸術
91	1996年2月28日	ニコラス・ヘルムース	グアテマラおよびメキシコのマヤ土器(A.D.300-900年)のイメージ・データベース—映像資料のコンピューター化

研究懇談会一覧

回	日付	発表者	発表題目
92	1996年3月13日	マリア・エロイーザ・フェネ ロン・コスタ	ふたつの先住民社会における身体の図像的表象—メヒナクとカラジャ
93	1996年4月24日	池谷 和信	イギリス植民地のベチアナランドにおける社会史
94	1996年5月22日	マルチーマラディ・リー ラ・クリシュナ	南インド東ガッツの狩猟採集民と焼畑農耕民
95	1996年6月19日	押川 文子	インドにおける独立以後の「平等」をめぐる政治
96	1996年9月25日	寺田 吉孝	クリントン音楽のアメリカ合衆国における受容について
97	1996年10月23日	Hussainmiya, Bachamiya Abdul	The Malay Community in Sri Lanka
98	1996年11月20日	クリストファー・バックウィ ズ	ジェンダーと認知
99	1996年12月18日	高 恵星	李氏朝鮮時代における地位の非連続性と社会変動—中人の場合
100	1997年2月25日	馬 戎	内モンゴルステップ草原生態系における遊牧パターンの変化
101	1997年3月12日	岸上 伸啓	カナダ・イヌイト社会における経済的变化
102	1997年4月9日	笹原 亮二	演じられる詞—三匹獅子舞歌の詞章を巡って
103	1997年6月4日	帯谷 知可	ウズベキスタンにおける歴史の見直しとバスマチ運動
104	1997年6月18日	平井 京之介	上座部仏教の倫理と「発展」の精神—北タイ農村女性にとっての仕事と儀礼
105-2	1997年7月16日	野林 厚志	狩猟活動と遺物化する動物の骨—台湾パイワンの狩猟活動に関するエスノアーケオ ロジー調査
105-1	1997年7月16日	M.R. Rujaya Abhakorn	The Ideas of Power and Ethnicity in a Luang Prabang Mural Painting: A Preliminary Discussion
106	1997年9月10日	Jos PLATENKAMP	Man as Homo Pictor? On the Ethnological Interpretation of Artefacts from Tobelo (Halmahera, East Indonesia)
107	1997年10月22日	大津留(北川)智恵子	アメリカの民主化支援の課題—民間団体の活動と公的責任の所在
108-2	1997年11月27日	Charles Keyes	Moral Authority of the Sangha and Modernity in Thailand: Sexual Scandals, Sectarian Dissent, and Political Resistance
108-1	1997年11月27日	Tesema Ta'a	Reviewing the Place of the Oromo in the History of Ethiopia
109-2	1997年12月16日	Wendy A. Smith	Pragmatic Spirituality: A Japanese New Religion in Multicultural Australia
109-1	1997年12月16日	加藤 昌彦	東南アジア語研究に何を求めるか
110-2	1998年1月29日	西尾 哲夫	人肉1ポンドのモチーフとシャイロックの発生学
110-1	1998年1月29日	榎屋 友子	イールハーン朝宮殿建築に見られる中国・モンゴルの要素とイラン的要素
111-2	1998年2月19日	全 京秀	日帝時代の人類学と植民地主義に関する一考察—台北帝大と京城帝大の人脈と活 動の比較を通じて—
111-1	1998年2月19日	齋藤 晃	ベルトウチの処刑—ボリビア・アマゾンの一殺人事件とその記憶—
112-2	1998年3月18日	賈 蕙萱	中華民族の道楽観—食道楽をめぐる—
112-1	1998年3月18日	村上 勇介	フジモリ政権はどう捉えられてきたか
113-2	1998年4月22日	阿部 健一	スマトラ泥炭湿地林の近代
113-1	1998年4月22日	成田 巳代子	北部カメルーン・フルベ族の衣装
114-3	1998年5月20日	宇野 文男	移動博物館の実現化方策に関する調査報告 3
114-2	1998年5月20日	野林 厚志	移動博物館の実現化方策に関する調査報告 2
114-1	1998年5月20日	端 信行・寺田 吉孝	移動博物館の実現化方策に関する調査報告 1
115	1998年6月17日	Thomas Ernst	Continuity, Change and the Law: A Case Study of the Effects on 'Traditional' Practice of Late Colonial/Post- Colonial Legislation to 'Safeguard'
116	1998年7月15日	John S. Schoeberlein-Engel	The Appearance of Tradition and Modernity: Changing Symbolism for Showing Who You Are in Central Asia

研究懇談会一覧

回	日付	発表者	発表題目
欠番	1998年12月16日	小長谷 有紀	研究展示における試み
欠番	1999年6月16日	Sujata Patel, Vinay Lal	Gandhi and Gender: Two Interpretations
117-2	1999年6月30日	山本 匡	社会の生成発展過程のモデル・シミュレーションと新たな社会システムの構築のための考察
117-1	1999年6月30日	篠原 拓嗣	将棋とコンピューター—思考型ゲームをめぐる人類の戦い
119	1999年7月14日	吉田 憲司・松山 利夫	”先住民、開発問題、そして民族学博物館”について考えるビデオ上映:「ジャビルカ」
120	1999年7月21日	包 智明	ホルチン・モンゴル族の農業化と漢化について
121-2	1999年10月6日	John E. Philips	The Zangon Kataf Incident and Political Problems in Nigeria
121-1	1999年10月6日	Cisse Mamadou	From Totemism to Joking Kinship: Examples of West Africa (the Sudano-Sahelian Region)
122-2	1999年10月20日	Robert Garfias	The Use of Computer Aided Technology in Ethnomusicology Research
122-1	1999年10月20日	Walter Pfaff	Between Theatre and Ethnology
122	1999年11月24日	関 雄二	現代ペルーの遺跡保護と盗掘者の論理
123	2000年5月17日	Weera Ostapirat	The Kra and the Tai People
124	2000年5月31日	オセアニア展示プロジェクトチーム(林 勲男ほか)	先住民の現在を展示する—オセアニア展示プロジェクトチームの試み
125	2000年6月7日	近藤 雅樹(報告)・新免 光比呂(コメント)・長野 泰彦(司会)	移動博の中間評価と今後のあり方
126	2000年6月21日	Thirayuth Boonmi	The New Middle Class and Thai Political Reform
127-2	2000年7月21日	小林 正佳	コメント: 観客の立場から
127-1	2000年7月21日	野村 雅一	身体と展示—企画公演『みんばくミュージアム劇場—からだは表現する』をふりかえって
128-2	2000年9月20日	印東 道子	オセアニア考古学の可能性—ヤップ島の土器研究から
128-1	2000年9月20日	韓 敏	毛沢東の意味とその生成—毛沢東の故郷、韶山の観光化の調査に基づいて
129-3	2000年10月18日	山本 泰則	フォーラムとしての博物館を考える: 夏休み子どもワークショップ
129-2	2000年10月18日	福岡 正太	フォーラムとしての博物館を考える: 常設展示場におけるガムラン・ワークショップの実験
129-1	2000年10月18日	野林 厚志	フォーラムとしての博物館を考える: 総合的学習へ向けた学習キットの可能性について
130-2	2000年12月6日	庄司 博史	コメント
130-1	2000年12月6日	曹 大峰	多言語データベースの構築と援用研究—日本語と中国語の場合
131	2001年2月8日	Ian Keen	Variation in Pre-colonial Aboriginal Economy and Society
132	2001年2月21日	飯田 卓	漁民の暮らしと現金経済—マダガスカル南西部ヴェズ漁民に関する調査報告
133	2001年5月30日	近藤 雅樹・林 勲男・飯田 恵美子・竹尾 勝美・山田 時比古・栗田 梨津子・国枝 暁子・杉山 可一・三宅 敬子	展示の評価をめぐる—企画展「大正昭和くらしの博物誌」とオセアニア展示・リニューアルを例として
134	2001年6月20日	鄧 曉華	中国東南部におけるエスニック・アイデンティティーと民間信仰の再生産
135-2	2001年7月18日	Victor SHNIRELMAN	An Anthropological Study of the Remote Past as Seen from the Transcaucassia
135-1	2001年7月18日	王 向華	日本の大学生の就職活動の人類学的研究
136-2	2001年10月17日	廣瀬 浩二郎	障害者文化の今昔—その人類学的考察
136-1	2001年10月17日	樫永 真佐夫	黒タイの親族と社会組織

研究懇談会一覧

回	日付	発表者	発表題目
137	2001年11月21日	マーティン・コルカット	アメリカの岩倉使節団—1872年の日米関係
138-2	2001年12月5日	Sam Ang Sam	Cultural Research in Cambodia
138-1	2001年12月5日	アルネ・レックム	自然との対話—与那国島における「スーダカンマリ(筋高生まれ)」の女性の話
139	2002年3月6日	大塚 和義・佐々木 亨・村上 東・藤田 武司	特別展「ラッコとガラス玉」の評価
140	2002年5月15日	竹沢 尚一郎	友愛の人類学—マルセル・モースと英仏人類学の交流
141-2	2002年6月5日	土佐 桂子	現代ビルマにおけるラーマヤナの変遷—「市民」から「国家」へ
141-1	2002年6月5日	U Thaw Kaung	Myanmar Ramayana: Some Text and Dramatic Performance
142	2002年6月19日	日高 真吾	文化財における今後の殺虫処理対策
143	2002年7月17日	村上 勇介	国際共同研究「現代ペルーの総合的地域研究」
144	2002年9月4日	近藤 雅樹	在外日本資料調査から—プラハ・ベルリン・ブレーメン
145	2002年9月18日	Henri Favre	CNRSと地域研究—ラテン・アメリカ研究の事例
146	2002年10月16日	朝倉 敏夫・大野木 啓人・黒田 和男・李 昌勲・金 昌代	展示の評価—2002年ソウルスタイル
147	2002年10月30日	小森 宏美	東中欧諸国における共産主義体制崩壊後の政治的状況—政党配置図を中心に
148	2002年11月20日	中牧 弘允・林 勲男・三木 美裕	来館者と展示体験を共有する試み—常設展示でのボランティア研修(中間報告)
149	2002年12月18日	博物館部門検討部会	文化資源研究開発センター(仮称)構想
150	2003年1月29日	平野 大	映像による帽子木型職人の技術に関する考察
151	2003年2月5日	石井 正子	紛争とムスリム女性—フィリピン南部サランガニ地方の事例
152	2003年2月19日	タクサミ・チュネル	シベリア・ロシア極東少数民族の社会・経済・言語的状況
153	2003年2月26日	福川 圭子・久保 正敏・岡田 綾子・新谷 裕香	HRAF (Human Relations Area Files)—20余年の軌跡と現在の資料
154	2003年3月5日	熊倉 功夫・竹村 昭彦・成田 真理子・尾崎 聡子ほか	「世界大風呂敷展」合評会
155	2003年4月16日	松山 利夫・田上 仁志	国内映像音響資料収集の報告—「日本のディジュリドゥ奏者たち」(映画上映と討論)
156	2003年6月4日	松園 万亀雄	性と家族計画—グシの代理夫制度をめぐる
157	2003年6月18日	Clara López Béltran	The Rise of a Colonial Rule: Government and Society in Latin America (19th-18th c.)
158	2003年7月2日	陳 天璽	日本における無国籍者たち
159	2003年7月16日	Boronoyeva Darima	The Buryat Chronicles as the Historical Sources in Research of Ethnic Identity of the Buryats
160	2003年9月17日	Subbiah Shanmugam Pillai	Pavement Shrines in Chnnai City, South India: Some Observations and Experience
161	2003年10月1日	川口 幸也	見せずにはいられない—展示という病
162	2003年10月22日	出口 正之	文化人類学への期待—フィランソロピー、NPO研究をとおして
163	2003年10月29日	Nassourou Saibou	Société et loisir: le hiirde des Peuls du Cameroun
164	2003年11月5日	三尾 稔	インド都市祭礼の新しいかたち—メディア、公共性、宗教ナショナリズム
165	2003年12月3日	信田 敏宏	改宗者のいる風景—マレーシア先住民社会におけるイスラームとキリスト教
166	2004年1月21日	Samten Karmay Gyaltzen	The Life Stories of the Founder of the Bon Religion in Tibet Depicted on Eighteen Printed Thangkas Kept at Minpaku
167	2004年2月4日	ジャン＝ピエール・ベルトン	地上の楽園の創設—新宗教と建築

研究懇談会一覧

回	日付	発表者	発表題目
168	2004年3月3日	Margaret Sironval	
169	2004年3月17日	Kanoksak Kaewthep	A Radical Conservative Buddhist Utopia: A Case of Asoke Community
170	2004年4月7日	Molly Lee	The Many Dimensions of Yup'ik Basketry
171	2004年4月21日	Peter Kaulicke	On 'Historiographized' and 'Materialized' Memories in the Perceptions of the Pre-european Andean Past
172	2004年6月9日	Djon Mundine	Contemporary Aboriginal Culture and Arts
173	2004年6月30日	庄司 博史	特別展「多みんぞくニホン—在日外国人のくらし—」をふりかえって
174	2004年7月14日	小林 繁樹	チベット仏教における仏画の身体構図をめぐって
176	2004年10月13日	Wil de Jong	Governance, Poverty and Conflicts in the Tropical Rainforests of Bolivia
175	2004年10月27日	Uradyn E. Bulag	Thank you, Mongolian Mothers of Chinese Orphans! : Inter-ethnic Adoptions and the Emotional Economy of National Unity
177	2004年12月8日	王 連茂	伝統の復興と変遷 (Revival and Transition of Tradition: From the 'stories' of Coastal Minnan, China')
178	2005年1月26日	山本 博之	テンドン村からサバ国へ—K, バリに見る「外来者のナショナリズム」
179	2005年2月23日	木村 自	離散の歴史とアイデンティフィケーション—在台湾緬甸帰僑回民の多層的アイデンティティ
180	2005年3月9日	ブレヒマ・カッシボ	Economic Challenges of the Institutional Reforms in West Africa: Democracy and Poverty. The Case of Mali
181	2005年5月11日	ロン・カール	屋根が有れば、「結い」も有賀地:白川郷荻町の結い、制度における継承の変容と変容の継承
182	2005年5月25日	菊澤 律子	ことばのパズルを解く:オーストロネシア諸語の多様な文法構造はひとつの祖語からどのように発達したか
183	2005年6月8日	島村 一平	ルーツ・シンドローム:モンゴル・ブリヤート人の間でシャーマンが増え続ける理由
184	2005年7月13日	飯田 卓	環境リスクと市場リスク—マダガスカル漁村のモダニティとローカリティを考える視点
185	2005年9月28日	松山 利夫	ウォルゲット・ノート:過疎化する地方町とアボリジナル
186	2005年10月12日	馬 建剣	粵北山区瑶族の遷居と適応(粵北山地における瑶族の下山移住と適応)
187	2005年11月9日	Brian Moeran	匂いの人類学的研究:理論と実践における問題点
188	2005年12月14日	杉本 良男	総括—特別展〈インドサリ—の世界〉
189	2006年1月25日	小野 林太郎	セレベス海域の海洋資源利用—民族考古学からのアプローチ
190	2006年2月8日	田村 克己	ビルマ再考—農村の社会変化と国家
191	2006年2月22日	Djon Mundine	Forest of Memory: Forest of Hope
192	2006年3月8日	白川 千尋	ヴァヌアツ・トンゴア島民SDA信徒と邪術
193	2006年5月10日	佐々木 利和	平澤屏山のアイヌ絵を考える
194	2006年5月31日	佐々木 亨	民博・常設展示場観覧者に関する調査報告
195	2006年6月14日	野林 厚志・日高 真吾	特別展「みんなくキッズワールド:子どもとおとなをつなぐもの」合評会
196	2006年9月27日	金子 正徳	アダットについて:婚姻をめぐる諸事例を中心に
197	2006年10月25日	吉田 憲司	聖書を生きる—南部アフリカにおけるキリスト教「独立教会」のひろがり
198	2006年11月29日	文 玉杓	韓国を訪ねる日本人たち—観光を通じた文化の遭遇
199	2007年1月24日	市川 哲	ニューギニア・チャイニーズの誕生—バブアニューギニアをめぐる華人の国際移動とエスニシティ
200	2007年2月28日	Tek Nath Dhakal	A Study on the Role of Nongovernmental Organizations in Livelihood Improvement in Nepal
201	2007年4月25日	朝倉 敏夫	在サハリン朝鮮民族調査について
202	2007年5月30日	加藤 謙一	展示と来館者のコミュニケーション—「フォーラムとしての博物館」理念の実践に向けて

研究懇談会一覧

回	日付	発表者	発表題目
203	2007年6月27日	Govind Prasad Dhakal	Partnership between Local Government and NGO/NPO: A Comparative Study of Japan and Nepal
204	2007年9月26日	吉本 忍	箱型開孔板綜紉の発見
205	2007年10月24日	鈴木 七美	19世紀アメリカの民衆健康運動—ハーブ治療と菜食のコスモロジー
206	2007年11月28日	太田 心平	おとめられたエリート—韓国・朝鮮における在京両班の植民地的近代と末裔たちの戦略
207	2008年1月23日	三尾 稔	民博ダンス・ワークショップの実践—その可能性と課題
208	2008年2月27日	ナサンバヤル	教育とナショナリズム—内モンゴルにおける近代学校教育制度の成立
209	2008年4月23日	関 雄二	近代ペルーにおける文化的自画像形成とインカー考古学の視点から
210	2008年5月28日	小長谷 有紀	ナラティブを前景化する—人類学的方法論の再定位
211	2008年7月23日	楊 国才	雲南少数民族の女性学の構築と展望
212	2008年9月24日	丹羽 典生	開発の意味を考える—フィジーにおけるダク村落開発事業を事例として
213	2008年10月22日	上羽 陽子	「編み」から「織り」へ—インド西部、ラバーリーの放牧用具を事例に
214	2009年1月28日	小林 繁樹	道具人類学事始め
215	2009年2月25日	川口 幸大	崩れゆく親族組織と村落秩序—中華民国期(1911~1949年)における宗族を中心に
216	2009年5月27日	三田 牧	糸満の「海を読む」漁師と漁撈技術の進歩—科学的知識と伝統的知識の二元論を超えて
217	2009年6月24日	リチャード・ワーブナー	Holy Hustlers, Schism and Prophecy: Christian Reformation in Botswana
218	2009年7月22日	須藤 健一	オセアニア島嶼国の近代化と「身の丈論」
219	2009年10月28日	デイヴィッド・オードー	Exceeding Meanings: Turning Early Souvenir Photographs of Japan into Anthropological Data
220	2009年11月25日	ヤンバパンタ・ドングレ	Political Mobilization V/S Social Compartmentalization: The Changing Role of Caste Associations in India
221	2010年1月27日	関 雄二	「バコパンパの貴婦人」の墓の発見
222	2010年2月24日	カ 麗娜	エヴェンキ族とシャマニズム
223	2010年3月24日	松山 利夫	フィールドノートを読みかえす—みんぱくでの33年
224	2010年4月28日	デイヴィッド・ケスター	イテルメン人のライフ・ストーリー—先住民のライフ・ヒストリーと個人記録文書をつなぐ
225	2010年5月19日	岩佐 光弘	「終末期」の人類学—ラオス低地農村部の死にゆく者のケア実践を事例に
226	2010年6月23日	アンヌ・ゴッソ	今後、日常生活に量は戻ってくるか？
227	2010年7月28日	小川 さやか	都市を生き抜くための狡知—タンザニア都市零細商人の「騙しあい助け合う」商売のしくみ
228	2010年11月17日	内藤 直樹	社会の「外部」を生きる—ケニア・ダダブ難民キャンプ複合体の空間的特性と難民の生活
229	2011年1月26日	山中 由里子	アラブ・ペルシアの驚異譚における女人国伝説
230	2011年2月23日	廣瀬 浩二郎	ユニバーサル・ミュージアムを掘る—誰もが楽しめる博物館の創造をめざして
231	2011年3月23日	長野 泰彦	みんぱくでの31年—チベット・ビルマ言語学とチベット研究の基盤整備
232	2011年4月27日	藤本 透子	カザフ草原におけるイスラーム復興と社会再編
233	2011年5月25日	岩谷 洋史	映像制作を通じた地域社会との連携の模索—兵庫県における獅子舞を事例として
234	2011年6月22日	Nu Mra Zan	Preservation of the Cultural Heritage in Myanmar
235	2011年7月27日	菅瀬 晶子	パレスチナ・イスラエルにおける聖者アル・ハディル崇敬
236	2011年10月26日	齋藤 玲子	近年のアイヌ研究—特別展の背景として
237	2011年11月30日	笹原 亮二	ハレのかたち—つくりものを中心に

研究懇談会一覧

回	日付	発表者	発表題目
238	2012年1月25日	相島 葉月	行間を「聴く」—イスラーム思想の口語性とテキスト性—
239	2012年2月22日	Alexander Adelaar	Siraya: The revival of a dormant Formosan language
240	2012年6月27日	伊藤 敦規	民族学博物館とソース・コミュニティとの標本資料情報協働管理について
241	2012年7月25日	川瀬 慈	民族誌映画制作における映像ナラティブの探究
242	2012年9月26日	河合 洋尚	中国人類学における漢族研究の動向
243	2012年10月24日	曹 建南	日本における超自然的茶の文化
244	2012年11月21日	宮本 万里	「環境にやさし我々」という自画像および主体をめぐる文化の政治について—現代ブータンの国立公園の事例から
245	2012年12月19日	Gordan Nikolov	Folk pottery in Macedonia: Field experiences
246	2013年1月23日	加賀谷 真梨	〈地域共同体〉の再定位に挑む—沖繩離島社会における高齢者福祉の展開に着目して
247	2013年2月27日	松本 雄一	“周縁”社会における文明の初期形成—アンデス形成期の事例から
248	2013年4月9日	インゲ・M・ダニエルズ	別の語り方—文化人類学とフォトグラフィー
249	2013年6月19日	浜田 明範	結核対策における統治の干渉—ガーナ南部における医療と家族について
250	2013年7月10日	ミリー・クレイトン	日本文化の窓としての百貨店—社会の変動、過去の時代、および将来の展望を読みとる
251	2013年10月23日	金田 純平	関西の女性による笑い話の構造
252	2013年11月6日	吉田 ゆか子	バリ島文化観光論再考—バロン・ダンスの仮面に着目して
253	2013年12月11日	小長谷 有紀	研究の展開マネジメント—小長谷有紀の場合
254	2014年1月8日	山本 睦	アンデス文明形成期社会の動態と考古学調査からはじまる文化遺産管理—ペルー北部ワンカバンバ川流域を事例として
255	2014年2月12日	田村 克己	民博25年、ミャンマー35年、人類学45年、そしてタイガース55年
256	2014年2月26日	ペドラム・ホスローネ ジャード	イランにおける宗教画の広がりとその分類
257	2014年3月19日	咸 翰姫	韓国の近代史を書く—記憶、口述、そして歴史人類学
258	2014年6月18日	丸川 雄三	連想検索技術を用いた身装画像デジタルアーカイブの発信研究
259	2014年7月23日	ピーター・J・マシウス	サトイモの起源をたどる—自然界の文化をもとめて
260	2014年9月24日	伊藤 敦規	所蔵博物館とソースコミュニティにとっての資料熟覧
261	2014年10月29日	吉岡 乾	何が格を決めるのか—動詞的要素と名詞的要素
262	2014年12月10日	豊山 亜希	植民地インドにおける日本製マジョリカタイルの受容—公衆衛生、消費、アイデンティティ表象
263	2015年1月14日	松尾 瑞穂	インドにおける生殖医療技術の文化論
264	2015年2月25日	ユーセフ・カンジョウ	シリアの文化遺産と紛争—国の文化遺産保護のため、シリア人にできること
265	2015年5月20日	チュ・スワン・ザオ	ベトナムにおける市場経済化の進展と地域文化の生成—東北地方のヌン・アン集団の事例から
266	2015年6月17日	寺村 裕史	考古学・文化財科学における“情報”とは何か
267	2015年7月8日	ギジェルモ・ウィルデ	接触領域の時空間—植民地期の知覚体制への比較論的アプローチ
268	2015年10月28日	ママドゥ・シセ	意味を刻む—西アフリカのアジャミ書法
269	2015年11月18日	卯田 宗平	鵜飼—人間と動物の関係論再考
270	2015年12月9日	Sam Ang Sam	Khmer Shadow Puppetry and the Future of Traditional Performing Arts
271	2016年1月20日	伊藤 敦規	民族学博物館資料の高度情報化とオンライン協働環境整備に向けた取り組み—フォーラム型情報ミュージアムプロジェクトの中間報告として
272	2016年6月29日	Jane Tsay	To pause, or not to pause: A comparison of prosody in spoken and signed languages

研究懇談会一覧

回	日付	発表者	発表題目
273	2016年8月3日	内田 吉哉	写真資料のデジタル化とその地域研究における活用—昭和中期の大阪を撮影した写真資料による事例
274	2016年9月14日	Gevorg Orbelyan	Animating the Museum
275	2016年10月26日	Jacob Copeman	The Social Life of Blood Donation in India: Devotion, Asceticism and the Guru
276	2017年1月25日	Elisabeth Engberg-Pedersen	Speaker(un)certainly in sign languages
277	2017年2月22日	James M. Savelle	Paleoeskimo Demographic History (ca. 4800-800 B.P.) in the Canadian Arctic and its Relationship to Mid-Late Holocene Climate Variability
278	2017年5月17日	Wolbert Smidt	The cowrie in Ethiopia and Eritrea: an ethnohistorical study of a traditional protective charm and object of value and beauty
279	2017年6月21日	CHOI Chi-Cheung	From anti-superstition to cultural industry: popular religion and Chinese path to global cultural discourse
280	2017年7月26日	Michal Buchowski	Migrants-phobia, Refugee-Phobia and Islamophobia in East-Central Europe
281	2017年9月13日	相島 葉月	現代エジプトのスーフイズムにおける自己主体性とモダニティ
282	2017年11月15日	相良 啓子	”日本手話、台湾手話、韓国手話における語彙の変化—数詞・親族・曜日の表現を対象に—”
283	2018年1月24日	スコット サイモン	台湾と日本における人間と鳥との関わり
284	2018年2月14日	飯泉 菜穂子	みんぱくにおける学術手話通訳養成
285	2018年5月16日	Fumi Arakawa	Investigation of the interpretation of prehistoric Mimbres pottery designs recovered from the American Southwest with the Hopi descendant community
286	2018年6月13日	Rossella Ragazzi	Artistic Intervention and Filmmaking in Sápmi (Norway): Actively Shaping New Forms of Cultural Heritage
287	2018年7月11日	古川 不可知	「シェルパ」と道の人類学—ネパール東部、エベレスト南麓地域における山岳観光と移動する身体をめぐる
288	2018年9月26日	鈴木 英明	”沿岸部スワヒリ史の新たな可能性へ向けて—グローバルヒストリーの視点から”
289	2018年10月10日	大澤 由実	感覚的認識と文化の関係性:第五の味覚「うま味」の事例から
290	2018年11月14日	Dávid Somfai Kara	Following the Footsteps of Vilmos Dioszegi Collecting Shamanic Folklore in Southern Siberia (Northern Mongolia) in the Post-Soviet Era
291	2018年12月12日	八木 百合子	アンデスにおける宗教的なモノの所有と継承—聖像をめぐる事例から
292	2019年1月23日	神野 知恵	”家廻り芸能はなぜなくなるのか—伊勢大神楽の神楽師が持つ多重的価値観からの考察”
293	2019年2月13日	末森 薫	敦煌莫高窟に描かれた規則性を備える千仏図—彩色がつくる宗教空間
294	2019年4月10日	佐藤 浩司	オーストロネシア語族の建築
295	2019年6月26日	Robert E. Johnson	Deaf ethnicity: Paternity and patrimony speaker
296	2019年7月24日	奈良 雅史	民族間関係の変容—中国雲南省回族社会における民族観光とイスラモフォビア
297	2019年9月25日	アディ・プラセティージョ	オラン・リンパ—森林の本当の管理人(英語発表)
298	2019年10月9日	野林 厚志・林 勲男	討論会:フォーラム型情報ミュージアムプロジェクトの課題と可能性
299	2019年11月27日	小野 林太郎	海のサピエンス史—海域アジアへ移住した人類の海洋・島嶼適応
300	2020年1月29日	黒田 賢治	現代イランにおける40年の殉教物語—死の社会化と国家の神話」形成
301	2020年10月28日	諸 昭喜	産後の民俗病に関する人類学的研究—韓国のサムプンを中心に
302	2020年12月9日	岡田 恵美	共に歌う山の民ナガー—インド北東部ナガランド州の音楽文化にみる特殊性
303	2021年1月14日	金 悠進	異国趣味を超えて—“インドネシア(らしい)音楽”とは何か
304	2021年2月4日	上畑 史	ポピュラー音楽と民族的アイデンティティ—セルビアのターボフォークを例に
305	2021年3月10日	川瀬 慈	映像話法の方法論

研究懇談会一覧

回	日付	発表者	発表題目
306	2021年5月26日	島村 一平	排除と憑依と反抗と——モンゴルにおけるシャーマニズムとヒップホップを貫く論理
307	2021年6月30日	阮 雲星	現代人類学的文化遺産論の試み——日中「デジタル文化遺産」の考察を中心に
308	2021年7月28日	中川 理	トランスナショナルな移動と集合性の生産——モン難民／フランス農民の事例から
309	2021年9月29日	平野 智佳子	アボリジニ・アートの分配とケアの生成——オーストラリア中央砂漠のアルコール問題治療施設の入居者の事例から
310	2021年10月27日	池谷 和信	5回目のビーズ展示——ビーズをめぐる人類学的研究の可能性を探る
311	2021年11月17日	William Nitzky	Reflections on Participation, Practice, and Pedagogy in Community-Museum Relations: Case Studies from China to California
312	2021年12月22日	大谷 育恵	匈奴考古学の進展——近年の草原考古学の状況もふまえて
313	2022年1月19日	市野 進一郎	マダガスカル <small>の</small> 霊長類の社会進化——霊長類学における長期継続調査の意義
314	2022年2月16日	齋藤 晃	大航海時代の文化相対主義
315	2022年4月27日	黒田 賢治	イラン・イスラーム体制下の娯楽——ポピュラー・カルチャーの「遷移」と殉教
316	2022年5月25日	松本 雄一	周縁と末端から見る古代アンデスの神殿——文明の形成を端から眺める
317	2022年6月29日	飯田 卓/ウィリアム D. ニツキー	関西在住アフリカ出身者と民博のあいだでの協働関係の構築
318	2022年9月28日	宮前 知佐子	文化資源と情報科学
319	2022年10月26日	松本 文子	文化芸術が社会に与える影響を探る—アートプロジェクト、ワークショップの実践を通して
320	2022年11月30日	松井 梓	ゴシップの渦中で生まれる「共在の倫理」を考える—モザンビーク島の女性たちの近所づきあいから
321	2023年2月1日	赤尾 光春	ユーロ・マイダン革命から「国民の僕」現象へ——ユダヤ人コメディアンの大統領を誕生させた紛争下におけるウクライナの政治文化の変容
322	2023年5月31日	岡本 尚子	『千一夜物語』仏語訳者J.-C.マルドリユス研究——地中海地域における文学空間の実相解明に向けて
323	2023年6月28日	門馬 一平	財貨をめぐる思惑——パプアニューギニア・ルイジアード諸島における交易・贈与・儀礼
324	2023年7月26日	鈴木 昂太	近代日本における民俗芸能と政治権力の研究——地方神職会による神楽規制・改善運動を事例に
325	2023年9月27日	河西瑛里子	女神から心霊主義——グラストンベリーでみてきたオルタナティブな宗教(みたいな現象)
326	2023年10月25日	藤井真一	21世紀のガダルカナル島で平和について考える——ソロモン諸島の「民族紛争」と紛争処理
327	2023年11月29日	伊東さなえ	共同性と市民性が交錯する地域(ローカリティ)で災害に対応する—ネパール・カトマンドゥ盆地のP村の事例から—【中止】
328	2024年1月31日	チェウンス	田中千代コレクションの韓国服飾資料の分析
329	2024年2月28日	伊東さなえ	共同性と市民性が交錯する地域(ローカリティ)で災害に対応する——ネパール・カトマンドゥ盆地のP村の事例から
330	2024年5月29日	永井正勝	古代エジプト語を対象とした文献言語学—分析と活用—